

大草谷津田生きものの里 自然観察会

春の香りを楽しもう！

戸村真理子（八街市）

日 時：2021年4月18日（日）10:30～12:00 天候：晴れ

参加者：12名（大人9名 子ども3名）

担当指導員：岡田敬子・松本美千代・戸村真理子

心配していた雨も上がり、風は少し強いものの暖かな春の観察会となった。感染対策で5名ずつの3班とし、5名揃ったら順次出発していくこととした。（15名参加予定が、当日3名取り止めのため、最後の班は2名となった）

まず広場で、キュウリグサの匂いを嗅ぎ、名前当てクイズをした。指で揉み、「キュウリの匂いがする」と子どもたち。「すごい！これはキュウリグサだよ」と言うと大喜び。次に、カラスノエンドウは知っていたので、その近くのスズメノエンドウを観察し、違いを比べた後で名前を知らせる。両者の中間の大きさのカスマグサを図鑑で知らせると、大人も子どもも感心した様子だ。周りに生えているフキやヨモギ、ノビルについては、持参したもので香りを嗅いでもらった。「蕗味噌、ヨモギ団子、ビールのつまり」など、それぞれが食べたことのある味を言って楽しんだ。

杉林の坂道に、芽出しのシロダモがあったので触ってみた。「気持ちがいい。すべすべしている。絹みたい」と、ビロードのような感触を実感。虫が大好きな少年二人は、エノキの葉を食べつくしているアカボシゴマダラの幼虫やイヌガラシに産み付けられたスジグロチョウの卵にも興味津々で、見つけるなり即座に名前を言うほどの虫博士ぶりだった。さらに、ミツバやニガキ、ニワトコ、ムラサキケマン、ケキツネノボタンなどを観察した。

林を抜けると、きれいなフジの花とにぎやかなカエルの声に迎えられた。池にはたくさんのオタマジャクシやオオタニシやシオヤトンボがいて大喜び。田んぼにはハクセキレイやコサギの姿もあった。ウワミズザクラやサンショウ、ゴマギなどの香りを楽しみ、不思議な形のウラシマソウやギシギシ、スイバなどを見た後、名残惜しそうに広場へ戻った。

最後に感想を聞くと、「名前がおもしろかった」「ナナフシモドキの幼虫がいて嬉しかった」「すごく楽しかった」「知らない名前や特徴が分かって良かった」などの声。一番好きな（印象に残った）香りは、「キュウリグサ、サンショウ、ウワミズザクラ、クサギ」と一人ひとりが答えてくれた。「今夜は菖蒲湯に入ろうね」と、ショウブの葉をおみやげに楽しく観察会を終えた。



匂いや年輪やきれいな花など熱心に観察中！ ジュウニヒトエがきれいに咲いて…